

高濟寺(東松山市)

庚申塔



六地藏



加賀爪氏累代の墓

昭和五年二月県指定旧跡

加賀爪氏は、徳川家に仕えて禄高一万石を領し、この地に陣營をおいた領主です。しかし、元和元年(一六八一年)に加賀爪氏は、その家禄を断絶されました。

加賀爪政尚は、徳川家康に仕え、長久手の戦、小田原征伐に戦功があり、比企と相模国高座(神奈川県高座郡)に三千石を領しました。加賀爪忠澄は、関ヶ原の戦、大坂の役に戦功があり五千五百石を領し、江戸町奉行に登用されました。加賀爪直澄は、旗本中の乱暴者として通ったようですが、書院番隊長、寺社奉行等を勤めました。また、茶道にも通じていたらしく、鶴陽舎一明、別に、名月庵鑑とも号していたと伝えられています。

加賀爪氏は、直澄の代に成瀬氏との間で領地問題をおこし、天和元年(一六八一年)に領地を没収されています。墓碑は向って右から

東雲院殿雪岡宗大禪定門(政尚)

高濟院殿自久妙然大姉淑靈(政尚室)高さ二・七六米

梅陽院殿峯山常雪居士(直澄)貞享二乙丑天(一六八五年)十月三日

高雲院殿一玄宗黒大居士尊儀(忠澄)寛永十八辛巳年(一六四一年)正月晦日

心光院殿弧雲正白大禪定尼台靈(忠澄室)承応元壬辰年(一六五二年)六月二十六日

安藤直次の女

靈源院殿独峯玄耀居士(直澄)貞享二乙丑天(一六八五年)十月四日 高さ二・五二米

正山春高童子(忠澄の子)元和八壬戌天(一六二二年)七月七日 高さ〇・七米

無閻宗徹居士淑靈(貞輔)万治三庚子年(一六六〇年)霜月念五日 高さ二・〇二米

華嚴清春童女靈位(直清女)寛文十三癸丑(一六七三年)正月七日 高さ一・六七米

掩粧清光院殿覺寔貞姓大姉台靈(直輔母)寛文元丁丑(一六六一一年)七月二日

高さ〇・九七米

聖観音浮彫 心窓浄春居士 桐雲妙悟大姉 高さ〇・五五米

と並列しています。

昭和五十二年三月

東松山市教育委員会

文化財を大切にしましょう



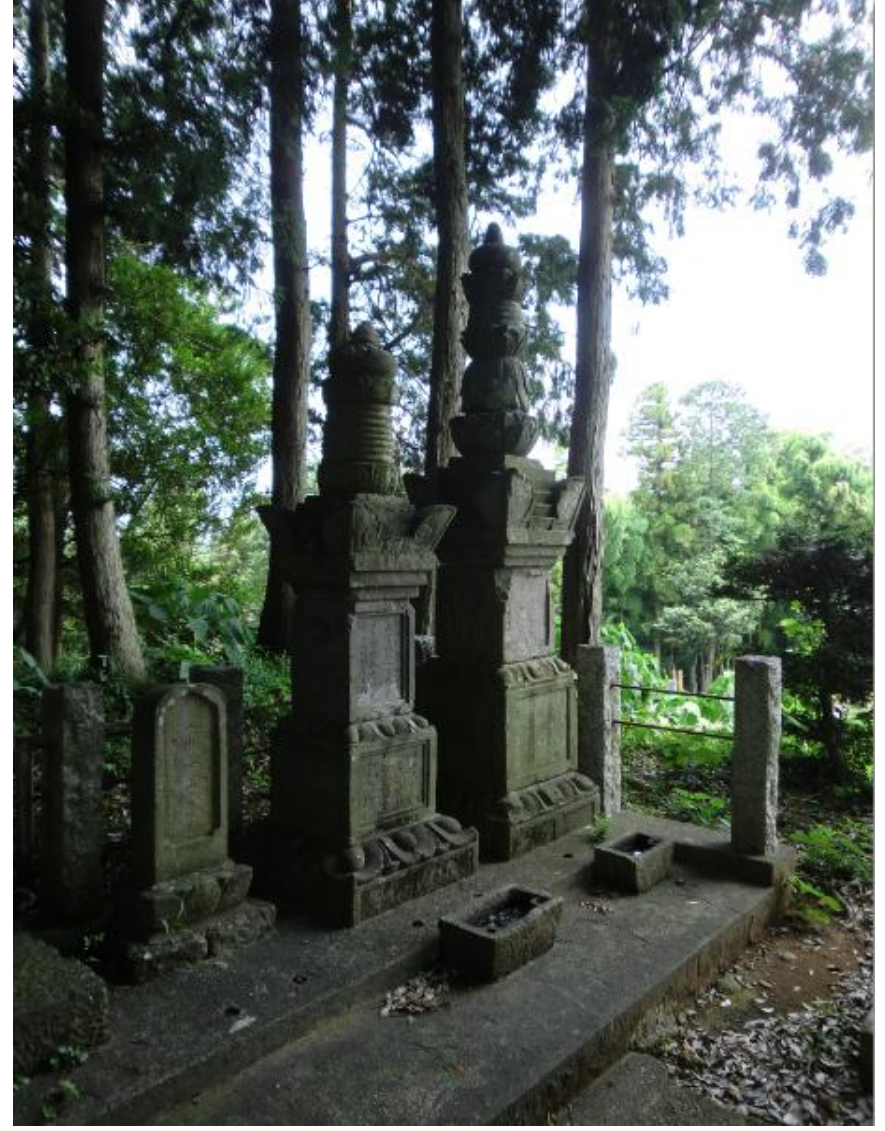
立派な宝篋印塔が立ち並ぶ



いずれも江戸時代の造立







高済寺境内には年代物の宝篋印塔、五輪塔や唐破風の石塔が沢山あった









このように唐破風一つとっても、その時代のデザインの流行、変遷等を通して時代考証と文化を感じることができるのは大変貴重なことである



こんなのもありました

